


あぶしん景況レポート

2021年4～6月期






















 あぶくま信用金庫
総合企画部

Vol.4 2021.8 発行

当地区の概況

【業種別天気図】

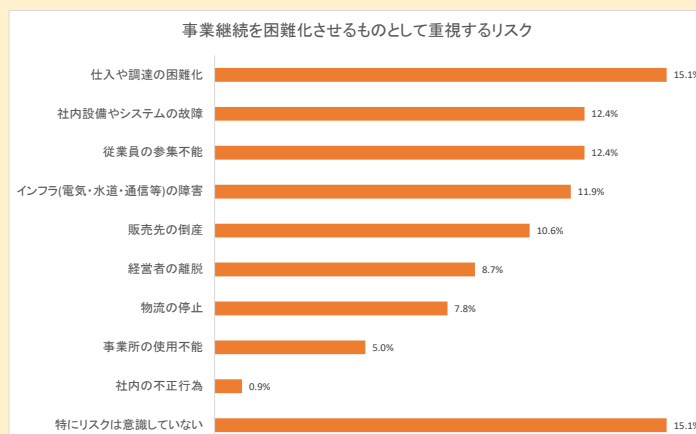
調査対象:120社

業種別	総 合	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービスマ業	建 設 業	不 動 産 業	総 合 D.I.
2021年 1～3月								▲ 30.8
2021年 4～6月								▲ 17.5
2021年 7～9月 (見通し)								▲ 18.3

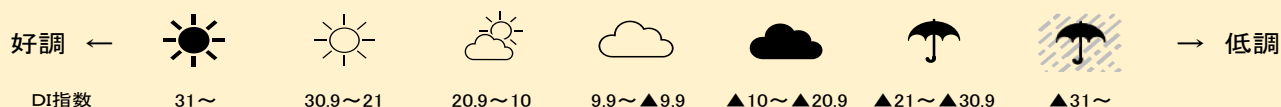
- 2021年4～6月期(今期)の業況判断D.I.は▲17.5と、前期比13.3ポイント改善となった。小売業においては、業況判断D.I.が▲4.8となりコロナ禍以降大幅な改善となった。
- 2021年7～9月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲18.3と、小幅悪化を見込んでいる。業種別にみると、製造業の来期予想D.I.は▲5.0と今期実績比▲10.0ポイントの改善を見込んでいる。

特別調査 - 中小企業の事業継続について -

- 事業継続を困難化させるものとして重視するリスクについて、「仕入や調達の困難化」が15.1%と最も高くなった。業種別にみると、製造業が「インフラの障害」、サービス業で「社内設備やシステムの故障」、建設業では「従業員の参集不能」が最も高くなった。また、「特にリスクは意識していない」が15.1%となった。



【業況判断天気図】




業況判断D.I指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>
各支店へ!

 あぶくま信用金庫
☎0244-23-5132

携帯・スマートフォンの方はQRコードを!
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん 
<http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	30.0	30.0	30.0	10.0	▲ 10.0
	実績	0.0	30.0	25.0	30.0	15.0	▲ 15.0
来期 (7-9月)	予想	5.0	25.0	35.0	20.0	15.0	▲ 5.0

業況判断 D. I. は今期(実績) ▲15.0 となり、今期(予想) を 5.0 ポイント下回った。来期(予想) は▲5.0 となり、今期実績比 10.0 ポイントの改善を見込んでいる。
「原材料高」を経営課題とする企業が増加した。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	55.0%	50.0%
2 原材料高	35.0%	20.0%
3 人手不足	30.0%	40.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	60.0%	65.0%
2 経費を節減する	45.0%	55.0%
3 情報力を強化する	35.0%	35.0%

卸売業

業況判断D. I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	21.1	42.1	21.1	15.8	▲ 15.8
	実績	16.7	5.6	38.9	27.8	11.1	▲ 16.7
来期 (7-9月)	予想	5.6	5.6	61.1	27.8	0.0	▲ 16.7

業況判断 D. I. は今期(実績) ▲16.7 となり、今期(予想) を 0.9 ポイント下回った。来期は(予想) は今期実績と同じ▲16.7 を見込んでいる。「売上の停滞・減少」を経営課題とする企業が減少した。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 取引先の減少	36.8%	36.8%
2 売上の停滞・減少	31.6%	52.6%
3 利幅の縮小	26.3%	21.1%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	63.2%	68.4%
2 経費を節減する	47.4%	52.6%
3 情報力を強化する	42.1%	47.4%

小売業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	10.0	30.0	40.0	20.0	▲ 50.0
	実績	0.0	23.8	47.6	28.6	0.0	▲ 4.8
来期 (7-9月)	予想	0.0	9.5	52.4	33.3	4.8	▲ 28.6

業況判断 D. I. は今期(実績) ▲4.8 となり、今期(予想) を 45.0 ポイント上回る大幅な改善となった。一方、来期(予想) は 23.8 ポイントの悪化を見込んでいる。「売れ筋商品を取扱う」を重点経営施策とする企業が増加した。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	40.0%	35.0%
2 同業者間の競争の激化	30.0%	20.0%
3 人手不足	25.0%	30.0%
3 利幅の縮小	25.0%	25.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	60.0%	55.0%
2 売れ筋商品を取扱う	25.0%	10.0%
3 店舗・設備を改装する	20.0%	15.0%

サービス業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	5.0	40.0	45.0	10.0	▲ 50.0
	実績	0.0	15.0	35.0	30.0	20.0	▲ 35.0
来期 (7-9月)	予想	0.0	10.0	45.0	35.0	10.0	▲ 35.0

業況判断 D. I. は今期（実績）▲35.0 となり、今期（予想）を 15.0 ポイント上回った。来期（予想）は今期実績と同じ▲35.0 を見込んでいる。「販路を広げる」を重点経営施策とする企業が増加した。

○経営課題

（単位：％、複数回答）

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	60.0%	60.0%
2 人件費の増加	30.0%	35.0%
2 同業者間の競争の激化	30.0%	20.0%

○重点経営施策

（単位：％、複数回答）

項目	今期	前期
1 販路を広げる	60.0%	50.0%
2 宣伝・広告を強化する	40.0%	35.0%
3 経費を節減する	35.0%	40.0%

建設業

業況判断D.I.

調査対象：22社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	0.0	52.4	47.6	0.0	▲ 47.6
	実績	4.8	14.3	42.9	38.1	0.0	▲ 19.1
来期 (7-9月)	予想	4.8	4.8	66.7	23.8	0.0	▲ 14.3

業況判断 D. I. は今期（実績）▲19.1 となり、今期（予想）を 28.5 ポイント上回った。来期（予想）は▲14.3 となり、今期実績比 4.8 ポイントの改善を見込んでいる。「同業者間の競争の激化」を経営課題とする企業が増加した。

○経営課題

（単位：％、複数回答）

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	52.4%	42.9%
2 人手不足	42.9%	42.9%
3 利幅の縮小	38.1%	28.6%
3 同業者間の競争の激化	38.1%	14.3%

○重点経営施策

（単位：％、複数回答）

項目	今期	前期
1 人材を確保する	52.4%	47.6%
2 販路を広げる	47.6%	33.3%
3 経費を節減する	42.9%	33.3%

不動産業

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	10.0	65.0	25.0	0.0	▲ 15.0
	実績	0.0	10.0	65.0	25.0	0.0	▲ 15.0
来期 (7-9月)	予想	0.0	5.0	80.0	15.0	0.0	▲ 10.0

業況判断 D. I. は今期（実績）▲15.0 となり、今期（予想）と同じ結果となった。来期（予想）は▲10.0 となり、今期実績比 5.0 の改善を見込んでいる。他業種と比べ、経営課題を問題なしと回答する企業が多い。

○経営課題

（単位：％、複数回答）

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	40.0%	50.0%
2 同業者間の競争の激化	25.0%	30.0%
3 商品物件の不足	10.0%	5.0%

○重点経営施策

（単位：％、複数回答）

項目	今期	前期
1 販路を広げる	25.0%	20.0%
2 情報力を強化する	20.0%	25.0%
3 宣伝・広告を強化する	15.0%	25.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

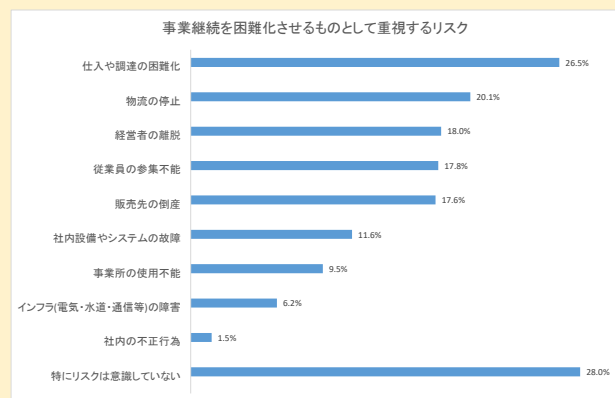
回答社数: 13,760社

		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2021年 1~3月								▲ 37.1
	2021年 4~6月								▲ 31.6
	2021年 7~9月 (見通し)								▲ 31.4
東北	2021年 4~6月								▲ 35.2

- 全国の2021年4~6月期（今期）の業況判断 D.I は▲31.6 と、前期比 5.5 ポイントと、厳しい水準での改善となった。2021年7~9月期（来期）の予想業況判断 D.I. は▲31.4 と今期実績比 0.2 ポイントの小幅改善を見込んでいる。
- 東北地区の2021年4~6月期（今期）の業況判断 D.I は▲35.2 と、前期比 8.1 ポイントの改善となった。2021年7~9月期（来期）の予想業況判断 D.I. は▲34.8 と今期実績比 0.4 ポイントの小幅改善を見込んでいる。

特別調査 - 中小企業の事業継続について -

- 事業継続を困難化させるものとして重視しているリスクについて、「仕入や調達の困難化 (26.5%)」が最も高く、次いで「物流の停止 (20.1%)」、「経営者の離脱 (18.0%)」となった。業種別では、卸売業で「販売先の倒産」、建設業で「従業員の参集不能」と回答した企業が多かった。



全国の調査員からのコメント

- 受注減少により資金繰りが悪化している。消費税や社会保険料の延納申請をしてしのいでいる。（プラスチック金型製造、神奈川県）
- 半導体不測の影響は6月以降に出てくる。大手自動車メーカーの工場休業を受け、当社も休業せざるを得ない状況になる見通し。（金属プレス、静岡県）

【調査要領】

1. 調査時期 2021年6月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断 D.I. は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断 D.I.) を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員 20 人未満の企業が約 7 割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。